

手作り雑巾

200枚贈る

贈呈式で子どもたちに手作りの雑巾200枚を贈ったお年寄りら=1日、彦島向井町

住宅型有料老人ホームなどの機能を持つ「アイユウの苑しおはま」（彦島塩浜町）に入居するお年寄りらが1日、近くの向井小学校（井上光晴校長、272人）の子どもたちに手作りの雑巾200枚を贈った。

向井小児童へ

と感謝した。

日頃支えてもらっている地域への恩返しとして、近くのグループ施設「アイユウの苑たのくび」（彦島田の首町）の入居者も加わりお年寄りら約30人と職員が初めて企画。入居者の家族や地域から譲り受けた使い古しのタオルを再活用し、5月から一枚一枚手縫いで

「地域に恩返しを」と

丁寧に仕上げた。

同校で贈呈式があり、入居者ら7人が訪れて贈呈。全校児童の前で受け取った6年の佐々木逞君、阿波村羽蘭さん（いずれも12）は「雑巾で学校を頑張って掃除します。地域で見かけたら声を掛けてください」と感謝した。

中心メンバーの一人、西末くにこさん（81）は右手首をけがし、「少し時間がかかるてしまつたけど、愛情を込めて縫つた。この雑巾を使って学校が明るくなれば」と願った。

同校と2施設は福祉体験や運動会参加などで約5年前から交流が続いている。

